

2021年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月15日

上場会社名 株式会社エヌリンクス 上場取引所 東  
 コード番号 6578 URL https://www.n-links.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗林 憲介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼管理本部長 (氏名) 栗林 圭介 (TEL) 03-6825-5022  
 四半期報告書提出予定日 2020年10月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第2四半期の連結業績(2020年3月1日~2020年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	1,671	△27.7	△899	—	221	—	72	—
2020年2月期第2四半期	2,310	—	△123	—	△119	—	△113	—

(注) 包括利益 2021年2月期第2四半期 72百万円(—%) 2020年2月期第2四半期 △113百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	10.12	9.94
2020年2月期第2四半期	△15.98	—

(注) 1. 2020年2月期第1四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、2020年2月期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 2020年2月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第2四半期	2,044	1,228	60.1
2020年2月期	1,852	1,191	64.3

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 1,228百万円 2020年2月期 1,191百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2021年2月期	—	0.00			
2021年2月期(予想)			—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,090	△14.4	△1,341	—	291	—	0	—	0.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期2Q	7,164,642株	2020年2月期	7,164,642株
② 期末自己株式数	2021年2月期2Q	一株	2020年2月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期2Q	7,164,642株	2020年2月期2Q	7,132,582株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、社会・経済活動が大きく制限され、企業収益や景況感の悪化、個人消費の減退など極めて厳しい状況で推移し、政府による緊急事態宣言の解除後も経済活動の回復に向けた動きは鈍く、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましても、主力事業である日本放送協会（以下「NHK」といいます。）からの放送受信料の契約・収納代行業務（以下「NHK業務」といいます。）において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大と緊急事態宣言の発令により、2020年3月27日から関東を中心とした一部の支店において、また、同年4月8日から全国すべての支店において2020年5月31日まで取引先であるNHKと協議のうえ、訪問活動等による営業活動の自粛を行い、また、2020年6月1日以降につきましては、業務の一部を制限しての営業活動となっており、新型コロナウイルス感染拡大以前の営業状態には、未だ戻っていない状況であります。

メディア事業の不動産メディア業務（「R o o c h」、「イエブラ」、「家AGENT」等の運営）におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により家AGENTにおいて、一部店舗業務の制限を行っていましたが、現在ではすべての業務を再開しております。

一方、メディア運営におきましては、ゲーム攻略サイト（「アルテマ」、「ゴリラw i k i」）及びマッチングアプリ情報サイト（「マッチングアプリP l u s」、「L i F e」）ともに好調に推移いたしました。

当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、NHK業務において、2020年6月開始の新規案件を獲得し、また、メディア運営において特にマッチングアプリ情報サイトが好調に推移しているものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により1,671,585千円と前年同四半期と比べ638,967千円（27.7%減）の減収となりました。

一方、販売費及び一般管理費につきましては、人件費関連費用として、給料及び手当を1,423,443千円（前年同期比10.0%増）、賞与及び賞与引当金繰入額を60,604千円（同62.9%減）、法定福利費を221,505千円（同1.6%増）、スマートフォンゲーム及びマッチングアプリの開発に係る研究開発費を145,138千円（同136.2%増）計上したこと等から、販売費及び一般管理費の合計は2,570,875千円（同5.6%増）となり、この結果、営業損失は899,290千円となりました。

営業外収益につきましては、NHK業務において、営業活動の自粛および業務の制限による機会損失の一部が、過去の取引実績に基づき取引先より補償されたことから、受取補償金として1,007,251千円計上し、また、新型コロナウイルス感染症の影響による一部事業活動の縮小に伴い、該当事業の従業員に対し休業を要請したことから、当該休業手当の一部が助成されたことによる雇用調整助成金113,128千円を計上したこと等により合計で1,123,598千円（前年同期は4,746千円）となり、営業外費用につきましては2,514千円（前年同期比131.9%増）となりました。この結果、経常利益は221,793千円（前年同期は経常損失119,910千円）となりました。

また、法人税等合計を144,148千円（前年同期は△5,932千円）計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は72,519千円と前年同四半期と比べ186,498千円の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①財政状態の分析

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は2,044,168千円（前期末比10.4%増）となりました。

主な内訳は、現金及び預金が1,050,445千円（同18.3%増）、営業未収入金が276,933千円（同39.5%減）、未収入金が136,405千円（前期末は2,105千円）、投資その他の資産が358,347千円（同53.3%増）であります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は815,969千円（前期末比23.5%増）となりました。

主な内訳は、短期借入金が100,000千円、未払人件費を含めた未払費用が411,011千円（同19.1%減）、未払法人税等が163,654千円（同830.1%増）、未払消費税等が81,788千円（同36.7%増）であります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は1,228,198千円（前期末比3.1%増）となりました。

主な内訳は、利益剰余金が605,382千円（同6.5%増）、資本金が316,408千円、資本剰余金が306,408千円であります。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は1,050,445千円となり、前連結会計年度末に比べ162,696千円増加しました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は235,860千円（前年同期は162,180千円の減少）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が216,668千円、営業未収入金の減少180,592千円、減価償却費23,164千円、未払消費税等の増加21,947千円があった一方で、未払費用の減少97,112千円、預り金の減少19,223千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は137,408千円（前年同期は42,397千円の減少）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出120,000千円、有形固定資産の取得による支出13,237千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増加は64,243千円（前年同期は25,977千円の減少）となりました。これは、短期借入れによる収入100,000千円があった一方で、配当金の支払額35,756千円があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の連結業績予想につきましては、本日（2020年10月15日）公表いたしました「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	887,748	1,050,445
営業未収入金	457,526	276,933
未収入金	2,105	136,405
その他	111,931	89,887
流動資産合計	1,459,312	1,553,671
固定資産		
有形固定資産	36,003	36,076
無形固定資産		
のれん	101,386	78,362
その他	21,952	17,709
無形固定資産合計	123,338	96,072
投資その他の資産	233,736	358,347
固定資産合計	393,078	490,496
資産合計	1,852,391	2,044,168
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	—	100,000
未払費用	507,879	411,011
未払法人税等	17,594	163,654
未払消費税等	59,840	81,788
賞与引当金	—	10,326
その他	75,574	49,188
流動負債合計	660,889	815,969
負債合計	660,889	815,969
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	316,408	316,408
資本剰余金	306,408	306,408
利益剰余金	568,686	605,382
株主資本合計	1,191,502	1,228,198
純資産合計	1,191,502	1,228,198
負債純資産合計	1,852,391	2,044,168

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
売上高	2,310,553	1,671,585
売上総利益	2,310,553	1,671,585
販売費及び一般管理費	2,434,126	2,570,875
営業損失(△)	△123,573	△899,290
営業外収益		
受取利息	4	3
受取補償金	—	1,007,251
雇用調整助成金	—	113,128
受取手数料	601	182
受取報奨金	759	445
助成金収入	3,330	2,160
雑収入	51	426
営業外収益合計	4,746	1,123,598
営業外費用		
支払利息	—	238
支払手数料	734	2,274
株式交付費	205	—
その他	145	1
営業外費用合計	1,084	2,514
経常利益又は経常損失(△)	△119,910	221,793
特別損失		
減損損失	—	5,124
特別損失合計	—	5,124
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△119,910	216,668
法人税、住民税及び事業税	3,671	140,912
法人税等調整額	△9,604	3,236
法人税等合計	△5,932	144,148
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△113,978	72,519
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△113,978	72,519

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△113,978	72,519
四半期包括利益	△113,978	72,519
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△113,978	72,519
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△119,910	216,668
減価償却費	13,932	23,164
減損損失	—	5,124
受取利息	△4	△3
支払利息	—	238
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,181	10,326
受取補償金	—	△1,007,251
雇用調整助成金	—	△113,128
営業未収入金の増減額(△は増加)	△10,956	180,592
前払費用の増減額(△は増加)	35,436	11,334
立替金の増減額(△は増加)	△3,847	10,808
未払金の増減額(△は減少)	979	△4,296
未払費用の増減額(△は減少)	11,092	△97,112
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△19,418	8,591
未払消費税等の増減額(△は減少)	△51,804	21,947
預り金の増減額(△は減少)	53,706	△19,223
その他	3,261	6,362
小計	△77,351	△745,856
利息及び配当金の受取額	4	3
利息の支払額	—	△238
補償金の受取額	—	872,268
雇用調整助成金の受取額	—	113,128
法人税等の還付額	8,398	1,200
法人税等の支払額	△93,231	△4,644
営業活動によるキャッシュ・フロー	△162,180	235,860
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△20,047	△13,237
無形固定資産の取得による支出	△637	—
投資有価証券の取得による支出	—	△120,000
敷金及び保証金の差入による支出	△21,932	△9,064
敷金及び保証金の回収による収入	220	4,893
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,397	△137,408
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	100,000
株式の発行による収入	2,444	—
配当金の支払額	△28,422	△35,756
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,977	64,243
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△230,555	162,696
現金及び現金同等物の期首残高	1,223,050	887,748
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	98,993	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,091,489	1,050,445

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症の影響により、主力事業である日本放送協会からの契約・収納代行業を実施する全国すべての支店において2020年5月31日まで訪問活動等による営業活動の自粛を行い、また、2020年6月1日以降につきましては、業務の一部を制限しての営業活動を行っていることから当社グループの運営に重要な影響を与えております。

前連結会計年度末においては、「2021年2月期第3四半期までの間に緩やかに回復する」と仮定しておりましたが、その後の新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、第2四半期連結会計期間末時点では、「2021年2月期末までの間に緩やかに回復する」と仮定を変更し、繰延税金資産の回収可能性およびのれんの評価にかかる会計上の見積りを行っております。この結果、四半期連結財務諸表への影響はありません。

なお、上記の仮定が見込まれなくなった場合には、繰延税金資産及びのれんの計上額が減少する可能性があります。